

WS 8 9月25日(火) 12:10~13:40

男女共同参画公開ランチョンワークショップ
「優れた科学の芽を皆でサポートするために」
～九州大学の女性支援の実践～

世話人：日本遺伝学会男女共同参画推進特別委員会
九州大学男女共同参画推進室

12:10 はじめに

五條堀 孝（日本遺伝学会長）

12:13 W8-01「九州大学における男女共同参画の取り組み」

樗木 晶子（九州大学男女共同参画推進室長
大学院医学研究院保健学部門）

平成21年度より男女共同参画推進室に広報部門、就労・修学環境部門、学生教育等部門、女性研究者支援部門の4部門を配した新体制となりました。教職員7～8人の室員が各部門を構成し、その領域の活動を行っています。これに加えて文部科学省振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」を行ってきた女性研究者支援室が、21年7月には「女性研究者養成システム改革加速」事業に取り組むために女性研究者キャリア開発センターに改組され、推進室と協力して九州大学全体の男女共同参画に取り組んでいます。新たな推進室の活動に対して平成23年に教職員全員のアンケートを施行しましたので、その結果もふまえて紹介したいと思います。

12:33 W8-02「九州大学における女性教員増加策とその成果

—『女性研究者養成システム改革加速』事業の実践—
上瀧恵里子（九州大学研究戦略企画室改革加速事業担当
応用力学研究所附属高温プラズマ力学研究センター）

九州大学では平成21年度開始の文部科学省『女性研究者養成システム改革加速』事業に「女性枠を設定した教員採用・養成システム」の課題が採択された。本取組は教員の採用に「女性枠」を設定し、女性限定の国際公募で広く応募者を募り、参加各部局の候補者を選定（一次審査）したのち、全学審査会を開催し、採用候補者の能力と部局の受入体制を審査し（二次審査）、最終的な採用者を決定する二段階選抜方式である。この全学審査会を実施することで透明性の高い選考が実施され、開始4年目を迎え30名を超える優秀な女性教員が本学に着任している。

講演では標記事業の本学での取組内容とその成果について紹介する。

12:53 W8-03 女性研究者支援を受けた立場から

清野 聡子（九州大学大学院工学研究院環境社会部門）
三浦 佳子（九州大学大学院工学研究院化学工学部門）

13:13 総合討論

13:33 おわりに

菊川 律子（九州大学男女共同参画推進担当理事）
中別府雄作（日本遺伝学会第84回大会委員長）